

鉄軌道駅の段差解消に向けた対応状況について
(臨時報告書)

【様式】

未整備駅名	羽倉崎
未整備駅の 所在都道府県及び市区町村	都道府県：大阪府 市区町村：泉佐野市
路線名	南海本線
1日の平均利用者数 (平成20年度末現在)	6,327
鉄道事業者又は軌道経営者 関係自治体	南海本線 大阪府、泉佐野市
バリアフリー化に関する現状	
地平駅 2面3線 地下道	

バリアフリー法第6条では、施設設置管理者等の責務として、「施設設置管理者その他の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されておりますが、この責務を踏まえ、鉄道事業者（軌道経営者）におかれましては、以下の質問にご回答下さい。（必須）

質問1 未整備駅について、平成22年（注）までにエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を行うための計画の有無につきましてご回答下さい。（該当するものを○で囲んで下さい。）

(1) 有 (2) 無

※ 以下の質問2は、質問1で(1)と答えた鉄道事業者（軌道経営者）におきまして、ご回答下さい。

質問2 エレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現する予定の時期をご回答下さい。

・ 時期：平成 年 月予定

(未定である場合はその理由を詳細にご回答ください。また、留意事項がある場合はご記入下さい。)

※ 以下の質問3から質問4までは、質問1で(2)とご回答した鉄道事業者（軌道経営者）におきまして、ご回答下さい。

質問3 未整備駅について、平成22年（注）までにエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を行うための計画をないとした理由及び課題についてご回答下さい。

自治体との協議において、期間内に補助金を得られる見込みがなく当社単独での整備は見送るが、今後の協議に応じて整備する予定。

質問4 平成23年（注）以降にバリアフリー化を行う場合、エレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現する時期及び実現までのプロセスをご回答下さい。

・ 時期：平成 年 月予定

・ 実現までのプロセス（スケジュール表等の添付も可）

引き続き補助金交付協議を自治体と進める。

(未定である場合はその理由を詳細にご回答下さい。)

補助金交付は、自治体が当該駅のバリアフリー基本構想を策定した後となる予定のため。

(調査)

バリアフリー法第5条では、地方公共団体の責務として、「地方公共団体は、国の施策に準じて、移動等円滑化を促進するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されておりますが、これら責務を踏まえ、所在都道府県及び市区町村におかれましては、以下の質問にご回答下さい。（任意）

○都道府県（未整備駅の所在都道府県の記載事項）

質問I 未整備駅について、鉄道事業者（軌道経営者）が実施するエレベーター又はスロープによる「段差の解消」の実現のための措置を講ずる意思の有無につきましてご回答下さい。（該当するものを○で囲んで下さい。）

(1) 有 (2) 無

質問II 質問Iで(1)と答えた都道府県におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置の具体的な内容をご回答下さい。

事業者と市の協議状況を踏まえて、対応を検討。

質問III 質問Iで(2)と答えた都道府県におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置を講ずる意思がない理由の具体的な内容をご回答下さい。

○市区町村（未整備駅の所在市区町村の記載事項）

質問I 未整備駅について、基本構想の有無につきましてご回答下さい。（該当するものを○で囲んで下さい。）

(1) 有 (2) 無

質問II 未整備駅について、鉄道事業者（軌道経営者）が実施するエレベーター又はスロープによる「段差の解消」の実現のための措置を講ずる意思の有無につきましてご回答下さい。（該当するものを○で囲んで下さい。）

(1) 有 (2) 無

質問III 質問IIで(1)と答えた市区町村におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置の具体的な内容をご回答下さい。

質問IV 質問IIで(2)と答えた市区町村におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置を講ずる意思がない理由を具体的にご回答下さい。

泉佐野市においては、「泉佐野市バリアフリー基本構想（JR日根野駅周辺地区）（平成20年）」を策定し、市内日根野駅周辺地区における高齢者や障害者などの移動の確保に向け、重点化整備地区を定め、駅や公共区間のバリアフリー化整備を推進しており、計画期間中の完成を目指している。羽倉崎駅については、基本構想の重点化整備地区外となっており、現時点において特段の措置は予定していないが、日根野駅周辺地区の整備進捗状況を踏まえて、必要な措置を検討することとしている。

担当部署等名	
鉄道事業者又は軌道経営者	南海電気鉄道株式会社
都道府県	大阪府
市区町村	泉佐野市

(注) 様式中、「平成22年、平成23年」となっているが、鉄軌道事業者の事業計画期間を勘案し、「年度」と読み替える。